

ロブ・ロウ

ジェームズ・スペイダー

*イタリア《ミストフェスト'90》
グランプリ受賞作品!

ロブ・ロウ (アレックス)

情熱のままに生きる悪の華...

ジェームズ・スペイダー (マイケル)

将来を約束されたエリート。

だがアレックスは鏡に映る自分の心なのか...

バッド・インフルエンス

悪影響



エピック・プロダクション&サールイ/ダイヤモンド提供★プロデューサーズ・オーガニゼーション/スティーブ・ティッシュ・カンパニー・プロダクション★カーティス・ハンソン・フィルム★ロブ・ロウ/ジェームズ・スペイダー・“BAD INFLUENCE”
製作総指揮:リチャード・ヘッカー・gモリー・アイゼンマン/脚本:デビッド・コープ/編集:ボニー・コーラー/撮影:ロバート・エルスウィット/プロダクション・デザイナー:ロン・フォアマン/製作:スティーブ・ティッシュ/監督:カーティス・ハンソン DO (DOLBY DIGITAL) UIP 配給 社
©1990 epic productions, inc.



□ サンゼルス郊外の太平洋を見おろす高級住宅街。スポーツタイプの真新しいBMWがすべり込む。部屋には、一流家具と最新電子機器が並ぶ。その部屋の住人、マイケルは、将来を嘱望されるマーケット・アナリスト。今日の出の勢いで、成功への階段をかけ上がっていた。

だが現代において、成功と引きかえに失なうものも多い。マイケルはブリーフ・ケースを置き、昼休みを一応取るものの、さまざまな心配が頭をよぎる。フィアンセからは、結婚をいつにするか催促されている上、大切なレポートが紛失している。コンピューターのどこかに紛れ込んでしまったのか、それとも会社のライバルに密かに抜かれたのか……。

そんな悩みから逃れるように、彼はB

MWを駆り、海辺の一軒のバーにでかける。その店のスツールで隣り合わせた女をかばったばかりに、マイケルは喧嘩を売られる。その時、背後に音もなく一人の男が現われた。男は瓶を叩き割ると、からんだ男の前に立ちはだかり追いかえた。それが、クールな眼なざしの中に危険な光を漂わせたその男アレックスとマイケルとの出会いだった。

マイケルは、自分とは正反対のアレックスの魅力の虜となり、興奮に身を委ねるが、それは破滅の道を意味していた。女と麻薬に溢れるパーティ、LAウィークリーの暗号コードにリストアップされた電話番号のないクラブ、LAライブの謎めいた一面への入口、その全てが、マイケルには魅力的で、彼はしだいにそんな生活に溺れていく。

マイケルは新しい友達アレックスと、毎日エキサイティングな夜遊びと二日酔いと笑いを楽しんだ。

そしてある日、突然、運命のつむぎは制御できぬ速さで回り始め、マイケルは自分がディズニーランドではなく、悪夢の真っ只中にいる事に気づく……。

ヒッチコックの作品を思い起こさせる見事な物語性と、現代を反映した登場人物の心理描写、斬新な映像で綴られた最高のサスペンスと、センセーション

を巻き起こした衝撃的な作品である。

89年度のカンヌ映画祭で、若くして主演男優賞に輝いたジェームズ・スペイダーが、その受賞作「セックスと嘘とビデオテープ」での役柄とは一転したマイケル・ボール役を熱演。

一方、彼を快楽と悪夢の世界へと誘うアレックスには、久々にスクリーンに復帰したロブ・ロウが扮し、これまでの彼のイメージを完全に変える狂気にとりつかれた若者を演じている。

若い二人のスターが激しい演技の火花を散らす間で、妖しく美しい女の魅力を発揮しているのが、リサ・ゼーン。映画は本作が3作目だが、「桜の園」や「キャバレー」といった話題の舞台で培った演技は抜群で、そのしなやかな肢体とともにミステリアスでサスペンスフルな内容を一層もりたてている。

監督は、「ネバー・クライ・ウルフ」や「サイレント・パートナー」などの脚本や「窓ノベッドルームの女」の演出で高い評価を得ているカーティス・ハンソン。

本年度イタリアのミストフェスト映画祭でグランプリを受賞した注目の作品である。

ロブ・ロウ ジェームズ・スペイダー

バッド・インフルエンス 悪影響

CAST

アレックス……ロブ・ロウ
マイケル……ジェームズ・スペイダー
クレア……リサ・ゼーン

STAFF

監督……カーティス・ハンソン
製作……スティーブ・ディッシュ
脚本……デビッド・コープ

UIP 配給

近日ロードショー

特別鑑賞券(一般) ¥1300/学生 ¥1100/ペア券 ¥2300) 発売中

有楽町・東宝映画街

日比谷映画

03
(591)
5353